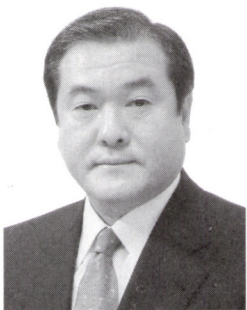




発行所
鯉 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



財団法人 漁船海難遺児育英会

理事長 鈴木俊一

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健康やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は漁業者をかつてない一斉休漁に立ち上げさせた原油価格の異常な高騰や、米国に端を発した金融不安が世界を駆けめぐると、世界的経済変動の荒波の中を行く年となりました。漁業者をはじめとした水産業界はもとよりわが国全体にとって、深刻な影響がいまだに続いております。

一方、こうした中ではありましたが日頃から漁船海難遺児育英事業をご支援いただいております皆さま方には、昨年も変わることなく格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年十二月一日には百年ぶりの改革といわれる、公益法人の新制度がスタート致しました。今後五年間に全ての公益法人がより公益性の高い「公益認定法人」かそれ以外の「一般法人」かの選択を行い、行政庁の認定や認可を受けなくてはなりません。本会も遅滞なく「公益認定法人」としての認定を目指すところでございますが、こうした改革の時をとらえ

て事業内容の一層の充実を図っていかうとも考えており、既に具体的な検討を重ねております。

昨今の奨学生数を見ますと漁業者の少子高齢化等の影響もあって、十年前と比較してその数は半以下となつています。一方で、教育費等に対する本会奨学金の充足率は上級学校になるほど十分なものとは言えない状態にあります。このことは統計を見るまでもなく、保護者の声からも明らかです。

今後、皆さまから託されたご厚志を海難遺児・遺族のために充分に役立てていくため、一層の努力をしてまいります。

何とぞ、皆さま方の暖かいご支援・ご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。



漁船海難遺児を励ます全国協議会

会長 服部郁弘

新年明けましておめでとうございます。常日頃より漁船海難遺児育英会事業の推進につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

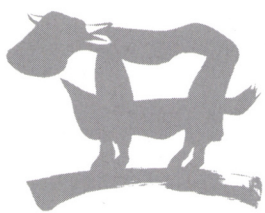
昨年は原油価格の驚異的な高騰により、漁船燃油価格の暴騰、漁業資材の高騰等、漁業者の漁業経営が危機的な状態になり、地域経済への影響が計り知れない状況に陥りました。

JFグループでは、昨年七月十五日に全国から約四千人近い漁業関係者が東京に結集し、「漁業経営危機突破全国漁民大会」を開催し、同時に過去に例のない全国二十万隻の漁船の一斉休漁を実施し、漁業の窮状を訴え、この結果、省エネ漁業への転換支援等の諸対策が構築されることとなり、JFグループは漁業者に対し支援事業を展開してまいりました。

JF全国女性連のご協力を得ながら、ライフジャケットの着用推進運動の拡大を推進し、海難事故防止に努めていく所存であり、今後とも育英事業の充実に努めてまいりますので、何とぞ、変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賀

正



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 尾山春枝

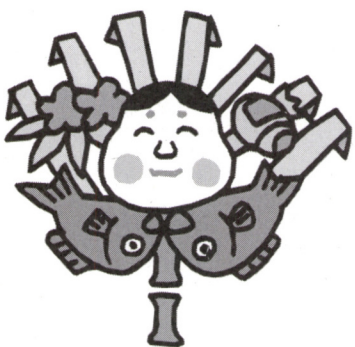
新年明けましておめでとうございます。皆さまには、すがすがしく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、奨学生の皆さまにおかれましては、日頃より勉学やスポーツをはじめ家業のお手伝いにも励まれ、一層たくましく成長された一年であったと思ひます。また、ご家族の皆さまにおかれ

をはじめとする励ましの輪があることを忘れずに、本年もご健健で、夢と希望に満ちあふれた実り多い一年を過ごされますようお願いいたします。

さて、一人乗りの小型船舶ではありますが規制が改正され、昨年四月からライフジャケット着用が全面義務化されました。

漁協女性部では、長年、ライフジャケットの着用推進を図ってきたところでありますが、昨年は、JF全国漁青連と共に「ライフジャケット着用推進」共同キャンペーンのポスターを作成し、水産庁長官と海上保安庁長官へ報告を行いました。



JF沖縄漁連 チャリティーコンペ開催



第六十回 全国漁港漁場大会

去る十月十六日(木)、『第六十回全国漁港漁場大会』が東京都港区芝公園「メルパルクホール」にて開催されました。

当日は、全国各地から関係者ら約千五百人が集まる中、会場ロビー入り口では全国漁業協同組合学校生の参加を得て募金活動が行われました。来場者の中には生徒さんを知る地元のかたがたも多く、皆さん、まるで息子に出会ったかのように声をかけたり、一緒に写真を撮ったりしながら寄付をしてくださいました。

また、全国漁業協同組合学校校長でもある、服部郁弘JF全漁連会長も共に募金に立ち、生徒の皆さんを激励されました。



▲ロビーは募金をしてくださるかたがたでいっぱい。

大会主催者である(社)全国漁港漁場協会ははじめ組合学校の皆さん、募金にご協力いただきました多くの皆さまにお礼申し上げます。

広がるライフ ジャケット着用運動 ～着用を浜の常識に～

昨年はマスコミで大きく取り上げられた漁船海難事故が多く、年の瀬になっても痛ましい事故が相次いで報じられていた。

一方で、四月一日から救命胴衣の着用義務範囲が拡大され、これを契機にライフジャケット着用推進運動に一層の弾みがついた年でもあった。

本会では四月、「着よう 着せよう ライフジャケット」の標語をあしらった「のぼり」を全国に配布し、運動の盛り上げに一役買ったところであるが、JF全国女性連とJF全国漁青連も共同で強力な推進運動を展開した。両組織では、ポスターとチラシを作成し、全国の浦浜での実践的な着用推進運動の展開を部員に呼びかけた。

か、水産庁長官や海上保安庁長官に漁業者自らの決意の程を報告し、強力なバックアップを求めた。またこの一年、目を引いた活動に海上保安部が中心となり進められた漁家女性による着用呼びかけ運動がある。宮城県では石巻海上保安所から「ライフジャケット着用推進員」の委嘱を受けた女性部員三名を中心に家族・地域・関係機関が一体となった運動を展開した結果、同地区の着用率が百パーセントに迫るめざましい成果を上げていた。また、岩手県ではやはり漁家女性による声かけ運動「ライフガードレディース」が広がりと成果を上げていた。

このほかにも各県各地でさまざまな努力がなされているが、「着用率は高まっているが、死亡事故を見ると沿岸五マイル以内で非着用の高齢漁業者が圧倒的に多い」(岩崎海上保安庁長官)との指摘もあり、ライフジャケットの着用が浜の常識となる日まで一層の努力が急がれる。

例えば、実際に大きな成果をあげている女性部員の声かけ運動を全国的に広げ、関係者の力を集中していけばより大きな成果も期待できるのではないだろうか。

本会でも、海難遺児をつくらせないという立場から、今後も積極的に運動に参加していきたいと考えている。



▲左から尾山JF全国女性連会長、山田水産庁長官、坂元JF全国漁青連会長

北見恭子さん

新曲発表会で寄付

海難遺児の支援をライフワークとしている、歌手の北見恭子さんのコンサート「神無月の夕べ」が去る十月二十九日、東京・新橋のヤクルトホールで開かれました。

今回のコンサートは「北見恭子ファンクラブ紅の会」が主催して開かれたもので、北見さんは「初心に返り海の歌を歌います」と、第一部ではおなじみの「おいらの船は三〇〇トン」など海の歌十曲を熱唱。途中、収益金の一部と会場からの募金の目録が本会佐藤信三専務理事に手渡されました。佐藤専務理事からは感謝状が贈ら



れ、「偶然にも本日は育英会の三十八回目の創立記念日。北見さんご縁を感じます。これまで一万二千人もの海難遺児を支援できたのは北見さんをはじめ皆さまの温かいお心によるもの」と感謝の言葉を述べました。後半、二部では新曲「浪花の月」が披露されるなど、会場を埋め尽くしたファンはその歌声に酔いました。

北見さんをはじめとする関係者の皆さまやファンの皆さまに心より感謝申し上げます。

○北見恭子(きたみ きょうこ)

山形県出身。昭和四十八年コロムビアレコードよりデビュー。浜で海難遺児に出会ったことをきっかけに、昭和五十四年より海難遺児を励ますチャリティー活動をライフワークとしており、平成十年には農林水産大臣より感謝状を授与されています。今回のコンサートで発表された、新曲「浪花の月」が好評発売中。

平成二十年度

第三回奨学生選考委員会

十月二十四日(金)、『平成二十年度第三回奨学生選考委員会』が開催され、「第三回奨学生出願者(十月十五日締切り)の選考」に

ついて審議されました。この結果、新たに幼児一人の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた十二月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。



平成二十年度 全国担当者会議

十一月七日（金）、東京都千代田区コープビルにおいて『平成二十年度全国育英事業事務担当者会議』を開催しました。

当日は、日頃から育英事業にご協力いただいている各都道府県漁船海難遺児を励ます地方協議会事務局担当者の皆さん十六人ならびに全国協議会担当JF全漁連漁政国際部部長市村隆紀氏が出席され、次の議題について熱心な討議を交わし、今後も育英事業の充実に努めることを確認し合いました。

＜議事次第＞

- 一、新公益法人制度への対応について
- 二、育英事業の充実について
- 三、育英事業事務手続きの留意点等について
- 四、貸与奨学金の返還について

▲担当者の皆さんから、貴重なご意見をたくさん頂きました。



第十回



皆さん良いお正月を過ごされたことと思いますが、おせち料理の食べ過ぎで体重を気にしているのは私だけでしょうか。

おせち料理と言えは、昨年末のラジオ番組でデパートのクリスマス・年末商戦が苦戦している中、食料品だけが健闘していると報じていました。特に、おせち料理の予約販売では一人当たり一万円程度のセットが売れ筋だとか。これだけ、不景気と騒がれている中、信じがたい金額で驚きました。

しかし解説者によると、海外旅行や外食を我慢して、自宅でささやかなぜいたくをする傾向の現れで、これも不景気だからこそその現象だそうです。

「本当かなあ？」と思いつつ、おいしいん坊としては、体重の増加すら心配できない世の中の来ないことを願うばかりです。

今年もどうぞよろしくお願致します。

(T)

保護者からのお便り

＊十月より息子の就職活動が始まりました。運悪く、景気が傾いて不安定です。安心できる就職先がみつかるよう願います。▼ようやく、娘の卒業式の袴を手配する事ができました。長いようで、就職も決まりましたし、後は、春を待つばかりとなりました。

（石川県 櫻井三重子）

＊いつもありがとうございます。おかげさまで、娘も元気に登校しております。

（徳島県 福池伊津子）

寄付者からのお便り

＊先日、三十年ぶりに献血に行きました。無事、合格を告げられ二〇〇ccできました。昔からお魚が好きなので、年中おおいしくいただいています。合格はそれのおかげかしらと感謝しています。献血はあと十年くらいできるそうで、続けていきたいと思っています。漁業にかかわっている皆さま、これからもどうぞ安全に十分に気を付けて操業なさってください。

（茨城県 藤本歌子）

＊夢に向かって、希望に向かってためまぬ努力・精進を怠りなくお続けください。

（埼玉県 松本安裕）

＊朝方冷え込む頃となりました。漁の皆さん大変な頃、無事を祈る毎日です。遺児の皆さんも寒さに負けず頑張ってください。

（千葉県 福田昌佳）

励ましおじさん・おばさん

『奨学金で寄付』のお礼

平成十九年十二月から平成二十年十一月までの間に、ご寄付を頂いた皆さまのご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

◎北海道▽加藤茂子▽佐藤俱子▽本間雅彦◎宮城県▽鎌内浩◎秋田県▽山岸剛◎茨城県▽大島登▽水谷宏▽菱幸運輸株式会社▽営業所所長吉村明朗◎埼玉県▽稲垣友三郎▽小野彌▽金木愛子▽神山幸士▽佐藤明美▽田口昭博▽橋爪政男▽松本安裕▽村田奇一▽森安良◎千葉県▽伊賀久則▽市村隆紀▽岩崎昌子▽大西絹子▽大類裕久▽釜田朝▽後藤曉▽斎藤信夫▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽中前明▽平田淳一▽福田昌佳▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽石坂和泉▽小川渉▽勝野輝美▽勝野ハナ子▽河辺義隆▽岸野昭雄▽工藤文子▽榎洗洋取締役会▽長江刺富美子▽古田主満▽重義行▽白井久子▽照山光一▽戸田満弘▽長屋信博▽根尾友久▽根本京子▽橋本牧▽春田孝二◎朝日▽朝日B R B▽平野文▽廣江志賀子▽廣重和夫▽福田濱子▽星野正一▽宮原邦之▽向井昌子▽本村裕三▽吉田博身▽山田修路▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽浅倉寛▽越智豊子▽佐藤憲雄▽佐藤正敏▽千倉睦男▽浜喜水産株式会社取締役太田昌三▽濱谷稔夫▽小百合▽松井エイ子▽山下潤▽大和陸子◎新潟県▽加悦幸二◎愛知県▽大内輝夫▽恵子▽野々山均◎福井県▽武田忠男◎京都府▽奥手初栄▽塩見英世◎大阪府▽角丸英子▽道本孝治◎兵庫県▽武田佳子▽古市正行◎長崎県▽

「育英会だより」の 原稿をお待ちしています

◎題材は自由です。最近の出来事や詩、随筆、奨学生への励まし、本紙に対するご意見・ご要望などお寄せください。なお、原稿は八百字以内でお願いします。

◎イラスト、写真もお待ちしております。

◎原稿をお送りくださった方には記念品を贈呈しております。必ず住所・氏名・電話番号（奨学生の場合は奨学生番号と学年、保護者の場合はお子さまの名前と奨学生番号も必須）をご記入の上、お送りください。なお、本紙掲載時に、匿名をご希望の方は氏名の横に「匿名希望」とご記入いただきますようお願いいたします。

寄付（募金）のお願い

本会の育英資金は、多くの善意のかたがたから寄せられた寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金はまだ十分とはいえないため、多くの方のご協力をお願いしております。

＜送金方法＞

郵便局および本会の指定する金融機関にお振込の際、本会の振込用紙をご利用いただくと、振込手数料が免除されます。ご連絡ください。

＜郵便振替口座＞

・口座番号
00150-7-131175

・口座名義
財団法人 漁船海難遺児育英会

また、ある一定期間、貸与奨学生の親代わりとなって定期的にご支援いただく「励ましおじさん・おばさん」へのご加入も併せて募集しております。ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒101-0047
東京都千代田区内神田二二一五

光正ビル六階
03(3256)1981

http://www.jf-net.ne.jp/ikueikai

寺島和子◎大分県▽中嶋一太▽山口英文

育英基金

『募金・ご寄付』のお礼

平成二十年九月から十一月までにご寄付を頂いた皆さまのご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

〔九月〕

◎宮城県▽東北ドッグ鉄工株式会社◎新潟県▽地方協一全国豊かな海づく

り大会募金◎富山県▽濱田健一◎三重県▽佐野義明―香典返し▽森能生・松永実―香典返し▽地方協◎広島県▽広島海難物故者供養式実行委員会◎大分県▽県漁協青年部蒲江支部◎長崎県▽村田清高―香典返し▽地方協

〔十月〕

◎北海道▽佐藤雅之◎青森県▽地方協◎静岡県▽初島漁協婦人部◎鳥取県▽ぎんりんグループ村上亜由美◎香川県▽打越貞光―香典返し▽市川文治―香典返し◎長崎県▽浦田重喜―香典返し▽亀山チヨ▽亀山泰治▽みなど祭実行委員会▽森ナル▽地方協

〔十一月〕

◎秋田県▽地方協◎岩手県▽阿部裕徳―香典返し▽伊藤隆一―香典返し▽北村光夫―香典返し◎宮城県▽石巻歌謡アカデミー会主武田つと◎富山県▽魚崎忠雄―全漁連漁協運動功労者表彰▽松野均―富山県功労者表彰◎三重県▽石塚信之・柴原重登―香典返し▽岡田清▽木村三郎▽畑井和也◎大分県▽県漁業士連絡協議会▽県水産振興祭実行委員会▽県水産養殖協議会青年部▽山本勇氏還暦祝ゴルフコンペ参加者御一同

チャリティコンサート◎岡山県▽吉田厚子◎鹿児島県▽富元小松

〔十月〕

◎北海道▽おじモニ杯チャリティソフトボール大会◎岩手県▽佐々木強◎山梨県▽佐藤一江◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽海洋土木(株)▽梶浦富子▽潮待茶屋企業組合(株)▽ジ喜代／東京築地中央市場福祉報徳会―東京築地中央市場福祉報徳会経由▽全国漁港漁場大会募金―芝メラルク▽照山光一―香典返し▽明治大学付属中野八王子中学校・高校生徒会福祉委員会―文化祭での募金◎京都府▽中上清吾◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽吉田厚子◎広島県▽小林宏◎熊本県▽九州・山口水産試験場長会OB会◎鹿児島県▽富元小松

〔十一月〕

◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子▽大久保和子―香典返し◎東京都▽(社)海洋水産システム協会◎静岡県▽遠州灘ゲームフィッシングトーナメント実行委員会大会会長照井康容◎京都府▽中上清吾◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽吉田厚子◎福岡県▽池田正二◎鹿児島県▽富元小松

三、ゆび募金

〔十月〕

◎ジャパンカインドネス協会経由▽(有)華想▽川添洋子▽北さつま漁協▽京や▽キリンビバレッジ(株)▽富山県信濃連▽(有)中西興業▽日南市漁協女性部加工グループ▽ネオス(株)▽バイハウス▽早田原漁協▽プリムローズ▽南九州コカ・コーラボトリング(株)

編集後記

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

▼本会育英事業を支えていただいている皆さまへの感謝の気持ちを大事にし、奨学生の励みとなる育英事業を推進していきたいと思ひます。一方、漁船の海難事故は年間約八百件も発生している状況にあります。今後、海難事故が無くなることを願うとともに、漁業者

のかたがたには乗船時にはライフジャケットの常時着用を是非心がけていただきたいと思います。

（佐藤）

▼なかなか明るい話題を見いだせない年明けとなつてしまいました。が、こんな時だからこそ、本会奨育英事業を改めて評価していただけるよう頑張っていきたいと思ひます。

（小林）

▼今年こそ！公私ともに充実した一年を送りたいと思っています。

（梶山）

▼たくさんのかたがたに支えられて、ここまで何とかやってこられました。感謝・感謝です。これからは支える側になりたいと思つてます。

（高橋）

▼昨年、「肉体改造」に励むはずが、ついつい自分を甘やかしてしまひ：年末、某スポーツジムの体力測定でさんざんな結果となりました（涙）今年こそ身を引き締め直して頑張ります！

（三上）

漁船海難遺児に愛の手を!! 水色の羽根募金